



はじめに

地球温暖化は、今日の私たちが直面しているもっとも重要な、かつ最も難しい問題の一つです。今まで多くが語られ、対策もいろいろ考えられ採られてきましたが、二酸化炭素の削減はあまり進んでいないのも事実です。

さらに、温暖化は公害問題と違って被害者が明確ではありません。「科学的な不確かさ」も手伝って、曖昧なまま「懸念の表明」だけが続いてきています。

しかし、平成19年2月には気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第4次報告書が出され、20世紀半ば以降に観測された地球温暖化は人為起源の温室効果ガスの増加によってもたらされた可能性がかなり高いと発表しています。過去100年での地上平均気温の上昇が0.74℃であることが明らかにされ、同時に地球規模での南極や北極圏での不都合な変化は予想以上に早く進んでいることが確認されました。

もはや、科学的知見の不十分さを口実に、対応を先延ばしにすることは許されない状況となっています。世界中の各界、各層、各個人が温室効果ガスの大幅削減、『低炭素社会』の実現に向けて直ちに行動を開始する必要があります。

温暖化防止の鍵は私たち一人ひとりが握っています。生活のあらゆる場面で温暖化防止の意思表示を行い、実践するべき段階になっています。

本小冊子は、地球温暖化問題に関する諸事項を取りまとめ、温暖化防止活動推進員をはじめとする人々の普及啓発活動に役立てていただくために作成したものです。積極的に活用いただくとともに、より豊かなものに、より高度なものに発展させていただけることを願ってやみません。

平成20年9月

大阪府地球温暖化防止活動推進センター
センター長 村井 保徳